

所長が 一貫作業システムについて 講演会を行いました。

平成28年8月8日(月)



茨城県笠間林業指導所からの依頼により、茨城県央地区林友会(林業・木材関係の団体)の会員に所長が、現在、林野庁で取り組んでいる低コスト化造林の一貫作業システムについて、茨城県水戸合同庁舎で講話を行いました。

低コスト化造林へのチャレンジ



関東森林管理局 森林技術・支援センター

平成25年度から27年度までに茨城森林管理署管内の梅香沢国有林で実施した「実生苗コンテナ苗を用いた一貫作業システムによる低コスト造林技術の実証試験」の資料を基に「低コスト化造林へのチャレンジ」に題名を変えて、分かりやすく作り替え、

約1時間、30名の参加者に講話をを行い、質疑に応えました。

参加者の中には、所長から九州では、挿し木のコンテナ苗が主流であることを聞いてビックリされていました。